

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年9月15日

## 【評価実施概要】

事業所番号	270301468		
法人名	社会福祉法人白銀会		
事業所名	グループホームひかる		
所在地 (電話番号)	〒031-0822 青森県八戸市白銀5丁目8番地2 (電話) 0178-32-1755		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年7月29日	評価確定日	平成21年9月15日

【情報提供票より】(平成 21年 7月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 3月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	8 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 8.0 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	2階建ての 1階 ~ 2階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	8,000 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 900 円		

### (4) 利用者の概要(7月1日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	1名	要介護2	1名		
要介護3	3名	要介護4	4名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 86.3歳	最低	75歳	最高	96歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	きむらクリニック
---------	----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>理念が介護に反映され、地域との関わりも深まってきており、日常的な交流が行われている。入居者からは自然な笑顔が見られ、温かさが感じられる落ち着いた生活できるホームである。これまでの暮らしの継続、入居者の言動や行動を十分に理解し個々のペースを大切にケアが提供されている。</p>
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題はなし。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価は全スタッフで取り組み、職員の意識合わせ、ケアの振り返りとしてとらえ、これからの目標を定めている。評価報告は会議で報告している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>ホームの実情について伝え意見交換が行われており、様々なアドバイスを頂いている。会議のメンバーも地域住民の参加がより多くなってきており、理解と支援体制作りに向けて話し合いが行われている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>家族からは不満より要望が多く聞かれてきている。面会時には日々の記録を活用しながら、本人の状態を伝え、気づいた点等直接聞くようにし、職員全員で前向きに検討している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>住宅地の中に立地しており、地域との関係も更に深まってきている。玄関の横に設置している椅子とテーブルを活用し、学生や隣近所の方が入居者と一緒に腰を下ろし、会話やお茶を楽しんだり自然な交流が図られている。また、認知症についての相談を受ける事もあり、折に触れて認知症についての情報を発信している。回覧等を通し地域の催し物の情報もあり、可能な限り参加し交流を深めている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	心と心のつながりを大事にした独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の実践に向けて具体的なスタッフの年間目標の他、毎月の入居者の生活目標を掲げている。月末には自己評価を行い、振り返り入居者との絆が深められるように日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	住宅地の中に立地しており、地域との関係も更に深まってきている。玄関の横に設置している椅子とテーブルを活用し、学生や隣近所の方が入居者と一緒に腰を下ろし、会話やお茶を楽しんだりと自然な交流が図られている。また、認知症についての相談を受ける事もあり、折に触れて認知症についての情報を発信している。回覧等を通し地域の催し物の情報もあり、可能な限り参加し交流を深めている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価は全スタッフで取り組み職員の意識合わせ、ケアの振り返りとしてとらえ、これからの目標を定めている。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの実情について伝え意見交換が行われており、様々なアドバイスを頂いている。会議のメンバーも地域住民の参加がより多くなってきており、理解と支援体制作りに向けて話し合いが行われている。		
6	7	市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	制度に関する事や判断に困った時等は直接出向いたり、電話等で相談しながらケアに活かしている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、利用されている方はいないが、制度については会議等の機会を通して伝え、必要時は支援に結びつける体制作りをしている。		
8	9	虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会の他、ケアの場面を通してスタッフ間でお互いに注意し合いケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>家族も高齢となってきたる為、イメージしやすい様に例を交えながら説明し理解を図っている。また、事業所で対応できる範囲についても明確にし、状況に合わせ都度説明を行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月末に便りを発行しており、生活状況や金銭管理状況の報告も合わせて行っている。また、面会時には日々の記録を活用しながら本人の状態を伝えている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>窓口を設置しており、意見や要望を表しやすいように工夫をしている。また、面会時には必ず声を掛け状況を伝え、気がついた点等直接聞くようにし、全職員で前向きに検討している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>採用面接時には入居者にとって馴染みの関係の必要性について話をし離職を抑える努力をしている。法人内での異動はあるが、交換研修会を行っている事もあり入居者と顔を合わせている。利用者への影響を配慮しての異動体制を図っている。また、十分な引継ぎをすることにより、利用者へ不安を与えないようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の資格取得に向けて職員の研鑽意欲を育てる助言や、段階的にフォローアップする研修体制がとられている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者・スタッフとも市内のグループホーム協会開催の研修会や交流会に参加し、交流する機会を通して質の向上に励んでいる。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に自宅を訪問したり、本人や家族に事業所の見学をして頂いている。また、短期利用の活用をし安心感を持ってもらうような対応をしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	支援する、支援されるという意識を持たず、利用者の歩まれてきた人生経験や得意とする物を大切に、和やかに生活出来るような場面作りがされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式のアセスメント表を使用し、本人の思いや意向を確認できるように努めている。また、日々の関りの中で声がけをし、言葉や表情、行動の真意を推し量り生活を支援している。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者が自分らしく暮らせるよう、本人や家族の意向が盛り込まれてあり、日々の生活記録を重視し、評価・介護計画の作成に活かしている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>職員同士で情報を確認し、利用者の状態変化や状況、本人・家族の要望に応じて見直しを行っている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者や家族の状況に応じて、暮らしの継続に必要な外出支援や通院支援等に柔軟に対応し、個々の満足度を高める努力をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。また、受診や通院は基本的に家族対応となっているが、職員が付き添いする等柔軟に対応している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	個々のニーズに合わせて、医師・家族と相談し方針を決めスタッフで共有している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	会議の際には職員に意識付けをし、勉強会も行っている。日々の関わりに関してもスタッフ間で振り返り、利用者の尊厳や個人情報の保護に努めている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課に縛られることなく、個々の体調や希望、今の気持ちを尊重し、臨機応変な個別支援を実施している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の状態に応じ調理や盛り付け、片付け、茶碗拭きを共に行い、職員と利用者が和やかな雰囲気であり、さりげない声かけやサポートがされている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入居者の状態と希望に添えるよう、毎日対応出来るようになっている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一人ひとりが何らかの役割を持って意欲的に活動できるよう、声かけや得意分野を広げて、張り合いや喜びのある生活への配慮がなされている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>個々のニーズに応じて、心身の活性に繋がるように、日常的に買い物やドライブに出掛けている。また、玄関脇にはテーブルと椅子を設置し、戸外へ出る事を積極的に行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者が抱えるリスクに対して正しい知識を持ち、日々の関わりに関しても、スタッフ間で振り返り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、施錠はしていない。利用者の行動を観察し、所在確認が出来るようにスタッフ間で意識付けがなされている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、実践的な自主訓練に取り組んでいる。また、地域住民の協力も得られるように呼びかけ、体制作りに取り組んでいる。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の状態に合わせて、色々な食事形態で摂取できるように工夫されており、個々の摂取状況も把握できている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し予防対策に努めている。手洗いがい・消毒方法も徹底されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感を刺激する環境を意識的に取り入れると共に、利用者にとって使いやすく馴染みの物やソファを置き、くつろげるスペースを設ける等居心地のよい空間を作っている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの物を持ち込んで頂けるように、ご家族へも説明をし、その人らしい個性が感じられる環境が出来ている。</p>		

 は、重点項目。